

佛前結婚式



何年か前の
晩秋に、朝起
きた時にひら
めいて新幹線

に飛び乗り広島の厳島神社へ行ったことがあります。到着すると偶然満潮で神殿の奥まで海水が満ちていました。水面に浮かぶ朱色が本当に美しかったのを忘れません。またこれも偶然でしたが「結婚式」が行われていました。海に浮かぶ朱色の回廊を真っ白なお嫁さんがゆっくり歩く姿はこれまた美し過ぎでした。日本古式の結婚式も捨てたものではありません。ただ後で聞いた話ですが、ここでの結婚式は人気があって予約を取ることは困難だそうです。

神社だけではなくお寺でも結婚式をさせていただいております。あまり知られていませんが。以前勤務していた京都の有名寺院では年に数回ありました。当時はオーソドックスな式場のバックプランの式では嫌だというこだわりのあるカップルがお寺でされていましたように思います。例えばプロカメラマンとモデルさんのカップルとかです。だから私は他のお寺さんより結婚式に携わった経験はずっと多いと思います。

先日依頼されて「佛前結婚式」の仕事をさせていただきました。キリスト教の結婚式で言えば神父さんの役の僧侶と、あと数人の僧侶スタッフがいたら立派な式ができます。式の流れはキリスト教の流れに似ています。佛前にて

新郎新婦が「私たちはいつまでも、生涯を通じて明るく仲良くします」と誓ったのち更に、①規則正しい秩序正しい生活をする事 ②自己に与えられた責任・使命を全うすること ③世のため人のために喜んで働くこと この三つを司婚師（神父さんにあたる僧侶）が「よく保つや否や」と新郎新婦に尋ねると「よく保つ」とお二人が返事をして佛さまに誓いを立てま



す。それが終わり佛教式に念珠の授与交換を執り行います。今回お二人は結婚指輪をお作りになったということで、せっかくなので指輪の交換もアドリブでいたしました。

日本古来の結婚式は神や佛など宗教は関与せず行われました。今でいうところの「人前結婚式」です。立会人が見届けるだけで

す。更に必ず夜に執り行われることが特徴です。日本で初めて現在の
ような神社における結婚式をされたのは案外最近で明治33年5月

10日、大正天皇です。当時の「西洋文明」を意識しキリスト教の式をコピーしたものと感じます。それを更にコピーしたものが佛式結婚式だと言えましょう。

俊徳丸

